

# サレジオ工業高等専門学校教職員行動規範

制定 平成 26 年 11 月 1 日

施行 平成 26 年 11 月 1 日

サレジオ工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、前身の帝都育英工芸学校の創立から 50 周年を迎えた 1985 年に定められた、キリスト教の精神に基づく教育、総合的人格陶冶に基づく技術者教育、創造性と探究心あふれる人間教育を実現し、人類社会に貢献できる技術者育成を使命と考え、教育・研究活動を行ってきました。

このような本校の教職員による活動をより確実にし、社会的意義を広めるため、行動基盤を定め、本校の教職員としての誇りと責任を持って、社会からの信頼と期待に応えるべく職務に努めます。

## 1 社会から信頼される学校を目指します。

私たちは、法令を遵守し、良識ある行動により社会からの信頼確保に努めます。このためにも学内の諸規程を整備し、それに基づく学校運営を行います。

## 2 人格を尊重し、より良い教育・研究環境作りに努めます。

私たちは、本校の教職員として、学生の健全な人格形成に寄与するとともに、私たちにかかわるすべての人々の人格を尊重し、暴力行為・ハラスメント・差別的言動などが起こらないよう行動し、明るく・快適な教育・研究環境の保持に努めます。

## 3 社会に開かれた学校を目指します

私たちは、本校が社会から大きな期待と支援を受けていることを自覚し、社会貢献を実践するとともに、社会に対する説明責任を果たすために積極的な情報公開を行います。また、社会に開かれた学校として、地域社会との交流や連携を推進し、教育・研究成果の社会還元にも努めるとともに、世界観を持った学校を目指します。

## 4 社会に貢献できる学生の育成を目指します

私たちは、本校の理念・教育目的に基づき、個々の学生の能力を高めるとともに、社会に貢献できる人材の育成に努めます。また、充実した学生生活の実現のために、教育・学習環境の整備と課外活動の支援を進めます。

## 5 教職員は自己研鑽に努めます

私たちは、教育研究機関に所属していることを自覚し、常に教育改善と学習支援を心がけ、教育の質的向上に努めます。また、自らの職務を通じて、学術的成果を上げ社会貢献を果たすと同時に、学生への教育的還元をはかります。高専を運営するに必要な見識や政策立案能力などを身に付け、主体的に思考し行動することにより高専の継続的発展のために弛まぬ努力をします。